

2016年8月期 決算説明会資料



株式会社 **エヌ・ピー・シー**

<http://www.npcgroup.net/>

代表取締役社長 伊藤 雅文

2016年10月13日



2016年8月期決算概要

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2015年8月期		2016年8月期					
	実績		修正予算 (2016.4.6)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	予算比(%)
売上高	9,349	100.0	5,225	100.0	3,996	100.0	△57.3	△23.5
売上総利益	1,319	14.1	1,174	22.5	1,069	26.8	△19.0	△8.9
販売管理費	800	8.6	1,015	19.4	953	23.8	19.1	△6.1
営業利益	519	5.6	158	3.0	116	2.9	△77.6	△26.6
営業外収益	75	0.8	99	1.9	127	3.2	69.3	28.3
営業外費用	171	1.8	165	3.2	163	4.1	△4.7	△1.2
経常利益	422	4.5	92	1.8	81	2.0	△80.8	△12.0
特別利益	160	1.7	96	1.8	106	2.7	△33.8	△10.4
特別損失	44	0.5	-	-	317	7.9	620.5	-
税引前当期純利益	538	5.8	189	3.6	△ 129	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	561	6.0	175	3.6	△ 122	-	-	-

(注) 前期比及び予算比はその増減比です。

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

2

2016年8月期決算概要

受託加工事業の状況及び業績に与えた影響

■ 受託加工事業の状況

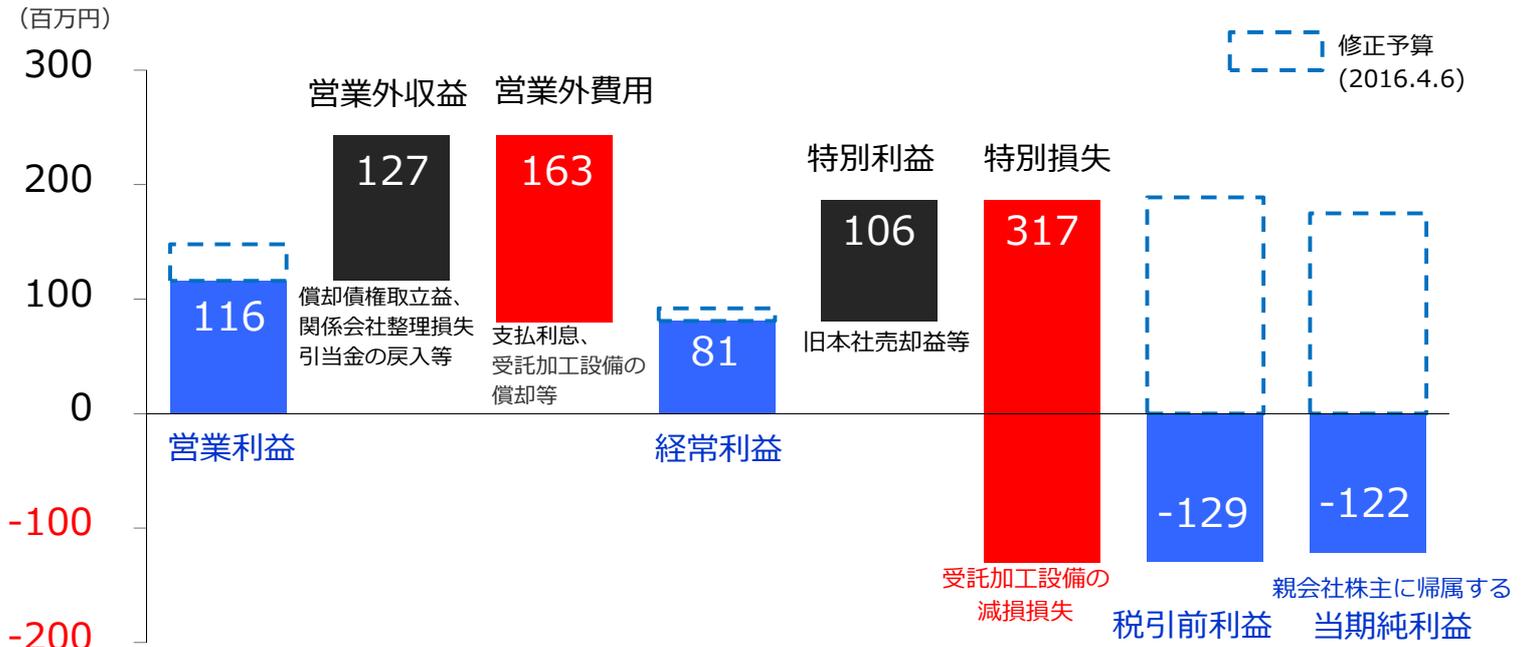
- ・ 既契約先の契約不履行により受託生産を開始できず
(注文書の未発行・生産部材の未発送・中量生産開始時期の一方的延長など)
- ・ 現時点でも受託生産の目途が立たず
- ・ 受託生産準備のために前倒しで各種費用のみが発生
(ライン改造・工場設備の増設・派遣社員の手配など)
- ・ 同社パネルの販売協力についても白紙
(引合いを受けていた案件についてはキャンセルとした)

■ 業績に与えた影響

- ・ 売上面における約 5 億円の損失 (受託加工費：約 3 億円、パネルの販売協力：約 2 億円)
- ・ 利益面における約 4 億円の損失 (売上原価：約 1 億円、特別損失：約 3 億円)
※ 減損損失により受託加工設備の簿価はゼロとなる
- ・ 受注の取消 第2四半期に計上した既契約先向けの受注 888 百万円を取消、受注残高はゼロとなる

2016年8月期決算概要

営業利益以降の段階利益



- 経常利益段階ではほぼ予算どおりの利益を達成
- 赤字の直接的な要因は受託加工事業に伴う特別損失（予算外）の発生

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

4

2016年8月期決算概要

装置関連事業

(単位：百万円)

	2015年8月期		2016年8月期					
	実績		修正予算 (2016.4.6)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	予算比(%)
売上高	3,561	100.0	4,928	100.0	3,980	100.0	11.8	△19.2
売上総利益	1,036	29.1	1,154	23.4	1,208	30.4	16.6	4.7
販売管理費	368	10.3	548	11.1	506	12.7	37.5	△7.7
営業利益	668	18.8	606	12.3	701	17.6	4.9	15.7

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び予算比はその増減比です。

■ 売上高

大型ライン案件を予定どおり売上計上したものの、その他の案件で目標に届かず約9億5千万円の未達

- ・ 太陽電池製造装置の一部案件に客先プロジェクトの遅れによる期ズレが発生
- ・ パネル検査サービスの未達及びパネル販売協力の取り止め（修正予算：529百万円 ⇒ 実績：190百万円）
- ・ 部品販売の未達（修正予算：475百万円 ⇒ 実績：361百万円）

■ 売上総利益

利益率を向上させたことで予算を約5千万円上回る利益額を獲得

- ・ 太陽電池製造装置では、営業努力と原価低減により利益率を向上（修正予算：23% ⇒ 実績：30%）
- ・ パネル検査サービスでも、営業努力により高い利益率を確保（修正予算：30% ⇒ 実績：43%）

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

5

2016年8月期決算概要 受託加工事業

(単位：百万円)

	2015年8月期		2016年8月期					
	実績		修正予算 (2016.4.6)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	予算比(%)
売上高	5,787	100.0	296	100.0	15	100.0	△99.7	△94.9
売上総利益	283	4.9	19	6.4	△ 138	△ 920.0	-	-
販売管理費	29	0.5	27	9.1	18	120.0	△37.9	△33.3
営業利益	253	4.4	△8	△2.7	△ 156	△ 1,040.0	-	-

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び予算比はその増減比です。

■ 売上高

客先の契約不履行により生産開始できずに未達

- ・客先の注文書未発行、生産部材の未発送、中量生産開始時期の一方的な延長
- ・2015年8月期末時点の在庫分のみの売上計上

■ 売上総利益

既契約先向けの生産準備等で発生した費用のみが原価計上されたことで損失額が拡大

- ・受託加工ライン改造費用、工場設備の増築、派遣社員の手配
- ・稼働率低下による原価差異の発生

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

6

2016年8月期決算概要 受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2015年8月期		2016年8月期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	5,847	3,236	4,542	△22.3	3,797	17.3
受託加工事業	△2,038	-	15	-	-	-
合計	3,809	3,236	4,558	19.7	3,797	17.3

(注) 前期比はその増減比です。

■ 装置関連事業

- ・太陽電池製造装置関連の受注高（大型ライン案件における追加受注を含む）：4,371 百万円
- ・パネル検査サービスの受注高：171 百万円
（高速I-V検査装置『Rakit』38台、屋外EL/PL検査装置『EPTif』3台、検査サービス32件：約200MW）
- ・前期末より受注残高が増加（+561 百万円）

■ 受託加工事業

- ・受注高 15 百万円は2016年8月期末の在庫分の受注計上
- ・既契約先との契約継続の見通しがたたず第2四半期に計上した受注高 888 百万円の取消し
- ・受注残高はゼロとなる

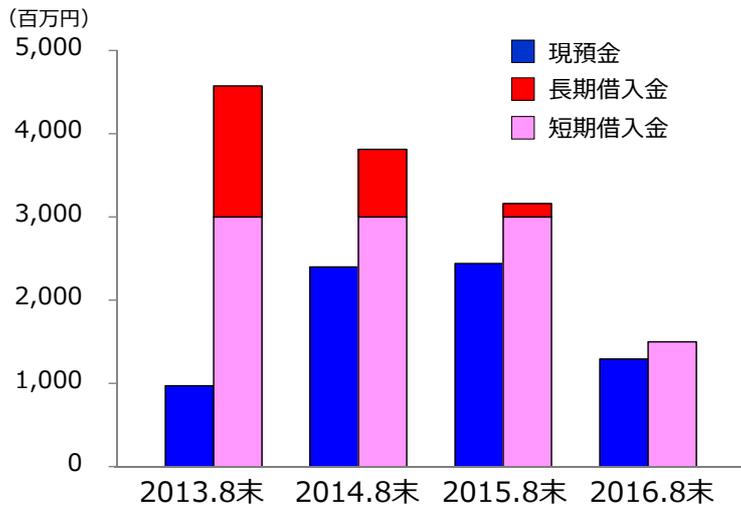
Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

7

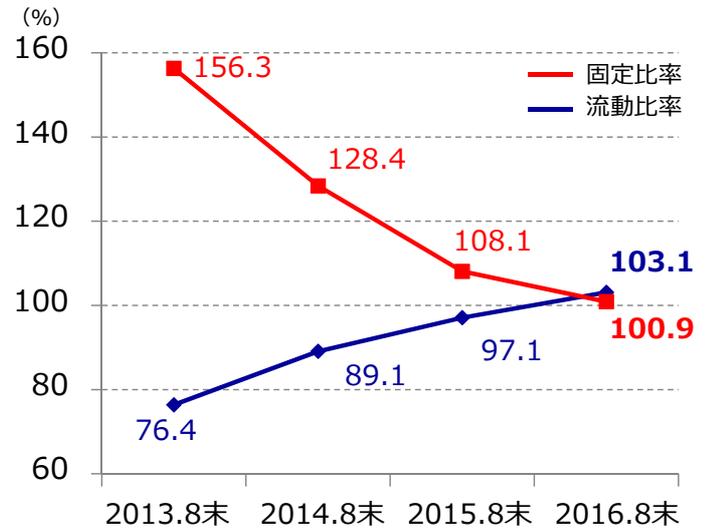
2016年8月期決算概要

貸借対照表

現預金残高及び有利子負債の推移



流動比率・固定比率の推移



- 長期借入金の完済、短期借入金（コミットメントライン）の残高を15億円に圧縮
- 流動比率と固定比率の改善
- 自己資本比率を高水準で維持 47.9%（2016年8月末時点）

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

8

2017年8月期の方針とアクション

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

9

2017年8月期 方針

既存事業の深耕と新規分野への展開に向けて
柔軟に取り組む

装置関連事業

1. ターゲット顧客の絞り込みと技術開発の強化
2. 既存ビジネスモデルの変革（アライアンス構築による営業の強化）

環境関連事業

1. 事業範囲の拡大（パネル検査サービス → 総合的なO & M事業）
2. 多種多様な企業との連携と協力による新たなサービスの創出
3. 太陽光パネルのリユース・リサイクルの商業化

2017年8月期のアクション 事業部制への移行

■ 事業部制への移行理由

- ① 環境関連事業における市場の拡大と事業性の目途が立った
- ② 異なる顧客層・ビジネス形態・事業環境に対応
- ③ 事業部毎の製品開発に特化
- ④ 事業部における迅速な意思決定

装置関連事業部

- ・ 太陽電池製造装置
- ・ 太陽電池解体装置
- ・ 特殊真空包装機
- ・ その他各種自動機

顧客層



太陽電池メーカー等

ビジネス形態・事業環境

- ・ ターゲット顧客の絞り込み
- ・ 最先端の技術を盛り込んだ新型装置の開発

環境関連事業部

- ・ パネル検査機器
- ・ パネル検査サービス
- ・ 自社製両面受光パネル
- ・ パネルのリユース/リサイクル

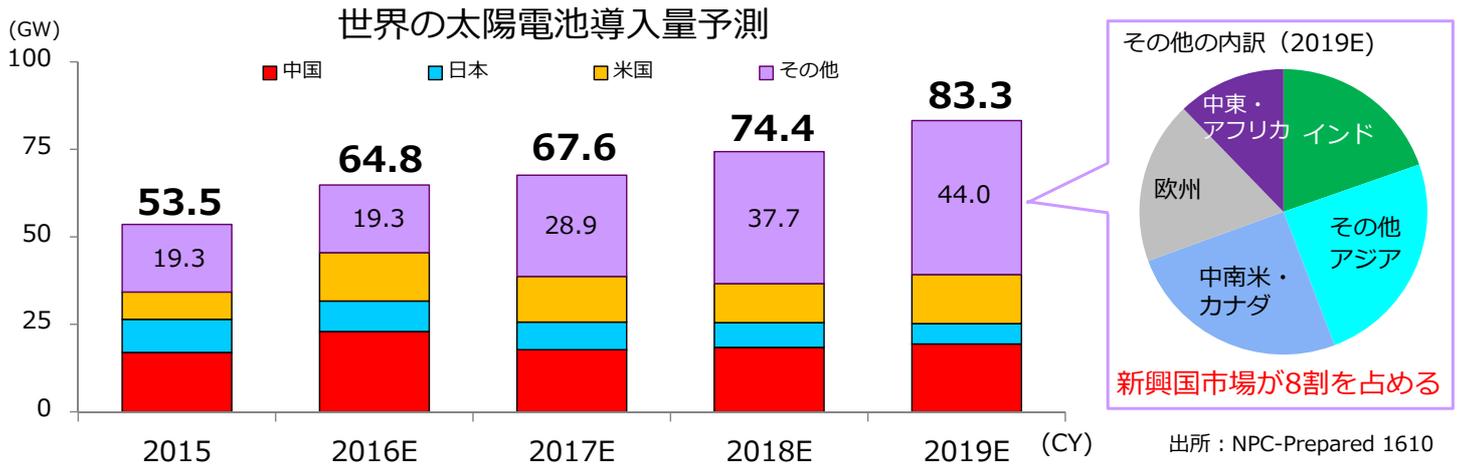
顧客層



- ・ 施工会社(EPC)
- ・ O&M企業
- ・ 発電事業者(IPP)

ビジネス形態・事業環境

- ・ 広範囲な顧客層の獲得
- ・ 検査関連機器やサービス面の製品化
- ・ リユース/リサイクルのスキーム構築



■ 2017年の成長率鈍化要因

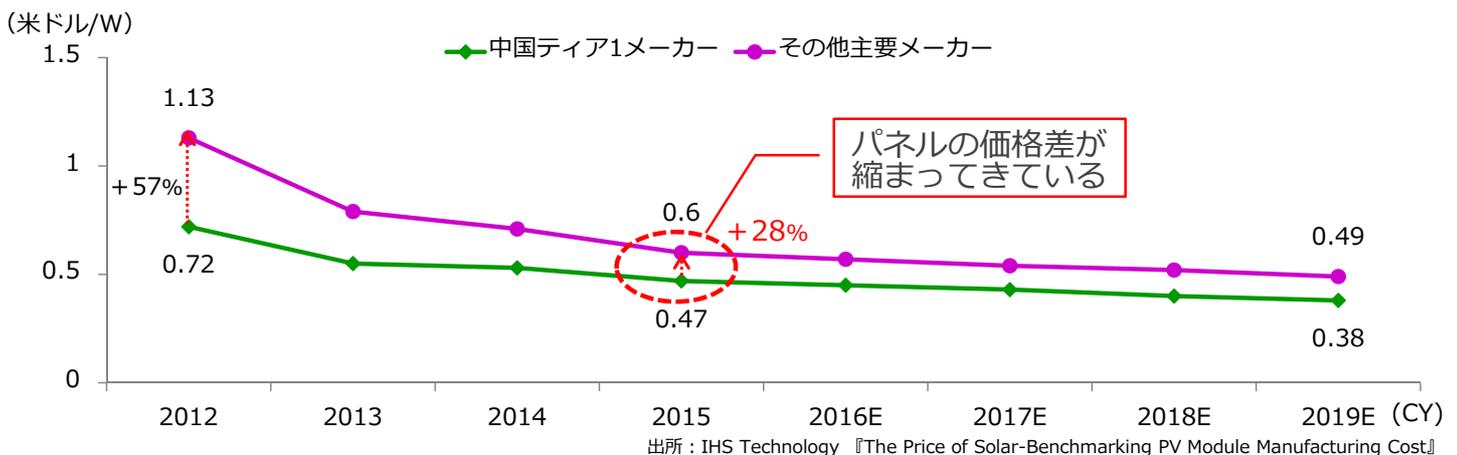
- 中国：FIT削減による失速・マイナス成長の可能性（2016年度の導入量より減少）
- 日本：固定価格買取制度などの政策変更で失速
- 米国：投資税控除延長によるプロジェクト稼働時期のフラット化

■ 2018年以降の成長率回復要因

- インドをはじめ、中南米、中東など新興国市場の台頭や、欧州未開拓市場の成長

太陽電池市場は世界的に今後も成長を続ける、成長を牽引するのはインドなどの新興国

■ 太陽光パネルWあたりの製造コスト推移



■ 太陽電池メーカーの動向

- ◆ 中国ティア1メーカー 中国国内の設置需要が頭打ち、海外市場へシフト
- その他主要メーカー 高効率・高品質・低コストを実現する新型パネルによる差別化
ユーティリティ向け大型パネルによるコスト競争力の向上

パネルの価格差が縮まり、高効率・高品質パネルを提供できるメーカーが競争力を持つ

市場動向のポイント	当社のビジネスチャンス
中国製パネルと高品質・高効率パネルとの価格差が縮まる	主要メーカーの設備投資の増加
今後の市場成長は新興国が牽引する	海外展開している主要メーカーの新興国等での設備投資 現地メーカーの勃興
太陽電池市場は今後も継続成長する	部品や消耗品などにおける安定的な需要

■主要メーカーとの関係強化

- ・大型ライン案件の残り2ラインの完成度向上
- ・新技術や新製品に対応した装置・プロセスの研究開発／製品化
- ・大型プロジェクト毎に専任技術者を選定、客先との綿密なコミュニケーション／技術情報の共有化



セル自動配線装置

- ・新型セルや特殊形状セルへの対応
- ・新素材や溶着素材への対応
- ・4本、5本バスバー対応

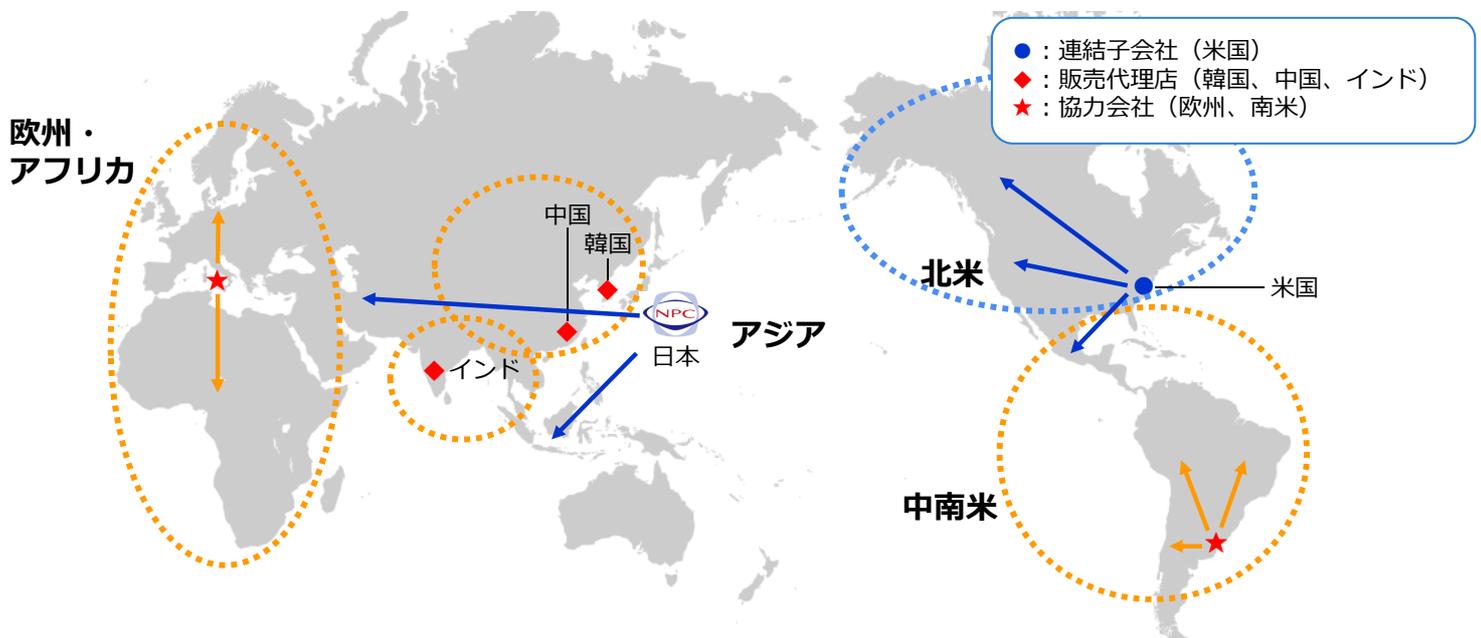


真空ラミネーター

- ・新型パネルやパネル大型化への対応
- ・素材の負荷を低減する機構の開発
- ・大型化によるタクトタイムの向上

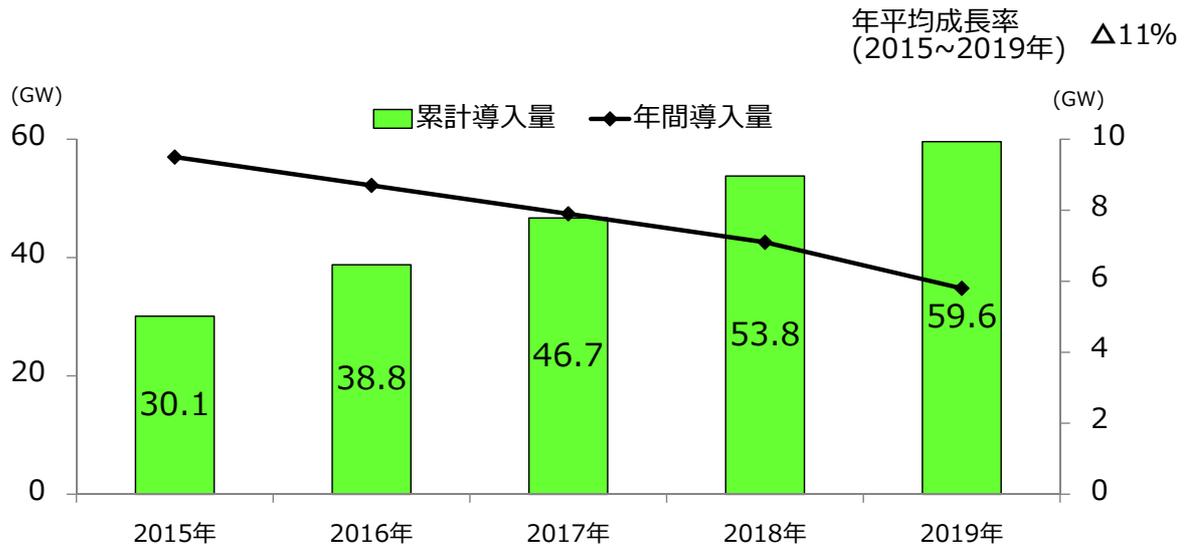
■太陽電池新興国への取り組み

各国の協力会社、販売代理店とのアライアンスによる販促活動を強化



アライアンスを活用して新興国市場に最適なサービスを提供

■ 日本の太陽電池市場予測



出所：NPC-Prepared 1610

【年平均成長率の鈍化要因】

- 固定価格買取制度における買取価格の低減
- 太陽光発電に適した土地の減少

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

16

固定価格買取制度（FIT）見直しのポイント

【見直しの目的】

エネルギーミックスにおける2030年度の再生可能エネルギーの導入水準（22-24%）の達成のため、固定価格買取制度等の見直しが必要
※2014年度 再エネ比率12.2%(水力9.0%、太陽光・風力・地熱・バイオマス等3.2%)

エネルギーミックスを踏まえた
電源間でバランスの取れた導入を促進
(FIT認定量の約9割が事業用太陽光)

国民負担の抑制のため
コスト効率的な導入を促進
(買取費用が約2.3兆円に到達見込み)
※ミックスでは2030年に3.7~4兆円の見直し

電力システム改革の成果を活かした
効率的な電力の取引・流通を実現
(一昨年、九州電力等で接続保留問題が発生)

再生可能エネルギーの最大限の導入と国民負担の抑制の両立

【見直しのポイント】

1. 未稼働案件*の発生を踏まえた新認定制度の創設

- 発電事業の実施可能性（例えば、系統への接続契約締結を要件化）を確認した上で認定する新たな制度を創設。【第9条】
- 既存の認定案件は、原則として新制度での認定の取得を求める（発電開始済等の案件については経過措置を設ける）。【附則第4条～第7条】
※H24～25年度認定済未稼働案件数は、約34万件/約117万件（≒約30%）（平成27年12月末時点）

2. 適切な事業実施を確保する仕組みの導入

- 新制度では、事業開始前の審査に加え、事業実施中の**点検・保守**や、事業終了後の**設備撤去等の遵守**を求め、違反時の**改善命令・認定取消**を可能とする。【第9条・第13条・第15条】
 - 景観や安全上のトラブルが発生している状況に鑑み、**事業者の認定情報を公表する仕組み**を設ける。【第9条】
- ※1 「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法等の一部を改正する法律」（平成28年5月25日成立・6月3日公布・平成29年4月1日施行）
 ※2 電気事業法においてもFIT法での送配電事業者への買取義務導入に対応し行為規制等の所要の改正を行う。
 ※3 現行法附則第10条（少なくとも3年毎の見直し）に基づき、見直しを行ったもの。引き続き、エネルギーミックス実現の観点から定期的に検討する。

3. コスト効率的な導入

- 中長期的な買取価格の**目標**を設定し、予見可能性を高める。【第3条】
- 事業者間の競争を通じた買取価格低減を実現するため**入札制**を導入。【第4条～第8条】（事業用太陽光を対象とし大規模案件から実施）
- **数年先の認定案件の買取価格まで予め提示**することを可能とする。【第3条】（住宅用太陽光や風力は、価格低減のスケジュールを示す）
- 賦課金8割減免は、電力多消費事業の**省エネの取組の確認**、**国際競争力強化の制度趣旨の徹底**や、省エネの取組状況等に応じた減免率の設定を可能とする。【第37条】

4. 地熱等のリードタイムの長い電源の導入拡大

- 数年先の認定案件の買取価格まで**予め提示**することを可能とする。【第3条】（地熱・風力・中小水力・バイオマスといったリードタイムの長い電源について、発電事業者の参入を促す。）

5. 電力システム改革を活かした導入拡大

- 再生可能エネルギー電気の**買取義務者**を小売電気事業者等から**一般送配電事業者等に変更**する。これにより電力の広域融通をより円滑化し、より多くの再生可能エネルギーの導入を可能とする。【第16条】
- 市場経由以外にも、小売電気事業者等への直接引渡しも可能とする。【第17条】

出所：資源エネルギー庁

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

17

大量導入時代からO&Mの時代へ： 適正なO&M促進の動き

- 政府（2017年4月1日）： 改正FIT法施行により、適切な点検・保守の実施を要件化

【適切な事業実施を確保する仕組み】

事業実施中の
点検・保守

事業終了後の
設備撤去

等の遵守を要件化

違反時は

改善命令

認定取消

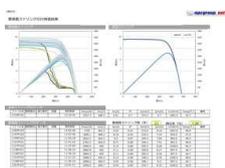
- JPEA（2016年7月27日）： 住宅用太陽光発電システムのO&Mガイドラインを改定
 ※ JPEA：一般社団法人 太陽光発電協会（Japan Photovoltaic Energy Association）
- JET（2016年8月1日）： 太陽光発電システム向け O&M認証制度スタート
 ※ JET：一般財団法人電気安全環境研究所（Japan Electrical Safety & Environment Technology Laboratories）
- 太陽電池関連各社：O&M事業を積極的に展開

今後の認定取り消しが予想されるものの、適正な案件が残ることで定期点検等の需要が増加する見込み。健全な太陽光発電が普及。

■ 当社の太陽光パネル検査サービスの状況

太陽光パネル検査

I-V検査



自動解析レポート
作成

EL検査



不具合箇所がひと目で
わかる使いやすさ

- 使いやすさと解析力で業界へ浸透

検査
実績

約155MW

契約
済

約330MW

（2016年8月末現在）

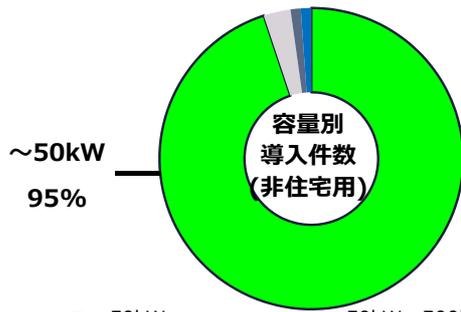
- 1MW以上の高圧システムを中心に受注

ソーラーウェルネス（フランチャイズ）

- 当社独自の検査方法を用いた検査サービスの全国展開
- 解析力・ノウハウで他社と差別化を図る
- パートナー企業11社（ベース構築中）



■ 件数の多い低圧システム（50kW未満）市場を開拓：検査メニューを拡充



既存の検査方法
I-V検査
EL検査

- モニタリング+定期検査
- 駆けつけ対応
- 低圧システム用年間保守契約
- 低価格簡易検査
- パネルの洗浄・除草（オプション）

出所：経済産業省（2016年5月現在） グラフは当社作成

まず地元の四国エリアから開始

事業スキームを確立

全国へ展開



■ 当社検査技術を活かした新しい事業スキームの展開

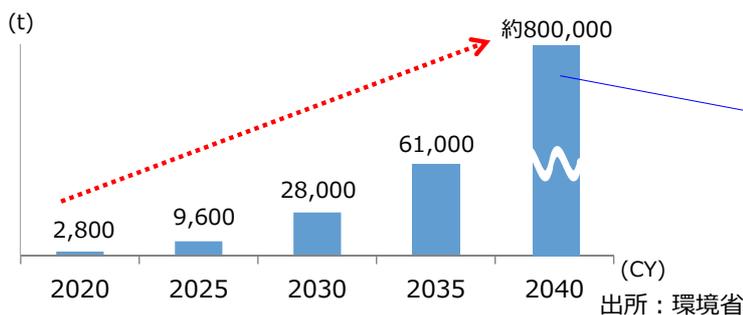
- 発電所の評価・ランク付けサービス
- 他社との協業などによる新しい検査方法の展開

■ 環境に関連する新製品の販売：蓄電池

- 安全に持ち運べる非常用電源
- リユースパネルとのセット販売



■ 国内における寿命を迎える太陽光パネルの排出量

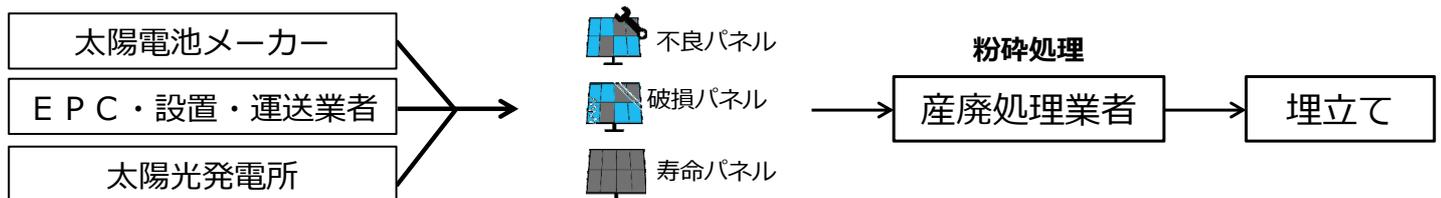


寿命パネルのみの想定にも係わらず
2040年には約5,000万枚が排出される

破損パネルや不良パネルを加えると
排出枚数は更に拡大すると考えられる

改正FIT法では事業終了後の
「撤去（廃棄）の遵守」が求められる

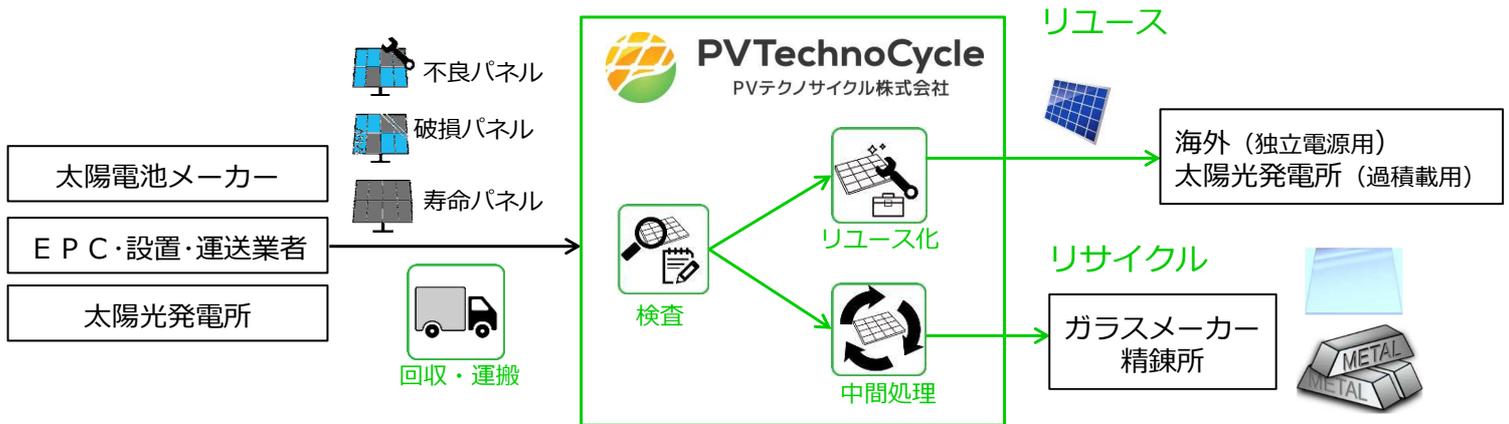
■ 現在の問題点と対処すべき課題



現在の問題点：まだ利用できる可能性があるパネルも産業廃棄物として処理されている
パネルに含まれている各種有価物の有効な回収ができずリサイクルコストが高い

対処すべき課題：再利用可能なパネルをリユースできるようなシステムの構築
再利用できないパネルのリサイクル性を高めてリサイクルコストを下げる

■ 課題解決のための取り組み



合併会社「PVテクノサイクル株式会社」で課題解決に取り組み、他社に先駆けて市場での地位を確立

環境ソリューション企業
HAMADA
リサイクルの経験・ノウハウ
産廃業界のネットワーク
物流ネットワーク
リサイクル施設と許認可



npcgroup.net
装置技術
パネル検査技術・ノウハウ
太陽電池業界のネットワーク
パネルづくりの経験・実績

■ PVテクノサイクル社の特長（親会社のシナジー効果）

工程	N P Cの強み	浜田の強み	特長
回収・運搬 	太陽電池業界のネットワーク	産廃業界のネットワーク 物流ネットワーク	・太陽電池業界と産廃業界の2つのネットワークを活用した排出パネルの回収 ・日本全国を網羅する物流ネットワーク
検査 	パネル検査技術・ノウハウ	—	・排出場所（現場・サイト）で検査が可能 ・太陽電池メーカーが製造工程で採用している各種検査機器や検査方法による検査
リユース化 	パネルづくりの経験・実績	—	・パネル品質の高精度な評価による信頼性の高いパネルの提供 ・パネル製造の経験を活かしたリユース化技術
中間処理 	装置技術	リサイクルの経験・ノウハウ リサイクル施設と許認可 産廃業界のネットワーク	・ガラスを割らずにEVA/セル層を分離する技術による処理コストの低減 ・回収した有価物を有効的に最終処理するための業界ネットワーク

2017年8月期業績予想

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

24

2017年8月期 業績予想

連結損益計算書

(単位：百万円)

	上期		下期		通期		
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)
売上高	1,305	100.0	5,302	100.0	6,608	100.0	65.4
装置関連事業	1,174	90.0	5,094	96.1	6,269	94.9	(注2) -
環境関連事業	130	10.0	207	3.9	338	5.1	(注2) -
売上総利益	307	23.5	1,234	23.3	1,542	23.3	44.2
装置関連事業	263	22.4	1,178	23.1	1,441	23.0	(注2) -
環境関連事業	44	33.8	56	27.1	100	29.6	(注2) -
販売管理費	530	40.6	486	9.2	1,017	15.4	6.7
営業利益	△223	△17.1	747	14.1	524	7.9	351.7
営業外収益	0	0.0	0	0.0	1	0.0	△98.4
営業外費用	86	6.6	81	1.5	167	2.5	2.5
経常利益	△308	△23.6	667	12.6	358	5.4	342.0
特別利益	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	△308	△23.6	667	12.6	358	5.4	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△316	△24.2	657	12.4	340	5.1	-

(注1) 前期比はその増減比です。(注2) 2017年8月期からセグメントの内容を変更しているため「-」と表記しています。

Copyright © 2015 NPC Incorporated. All rights reserved.

25

■ 売上高

前期比『増収』となり、『下期偏重』となる見込みである。
売上高のうち約34億円は受注済みの案件から売上計上（売上高の約半分相当）。

- 装置関連事業**
- ・ 大型ライン案件の残り2ラインを下期に売上計上
 - ・ 大型ライン案件における追加注文の発生
 - ・ 複数社の主要顧客の大型プロジェクトを予定

- 環境関連事業**
- ・ 230MWメガソーラー（中電工）を含めた特高案件の竣工検査を開始
 - ・ 低圧向け検査サービスの実施

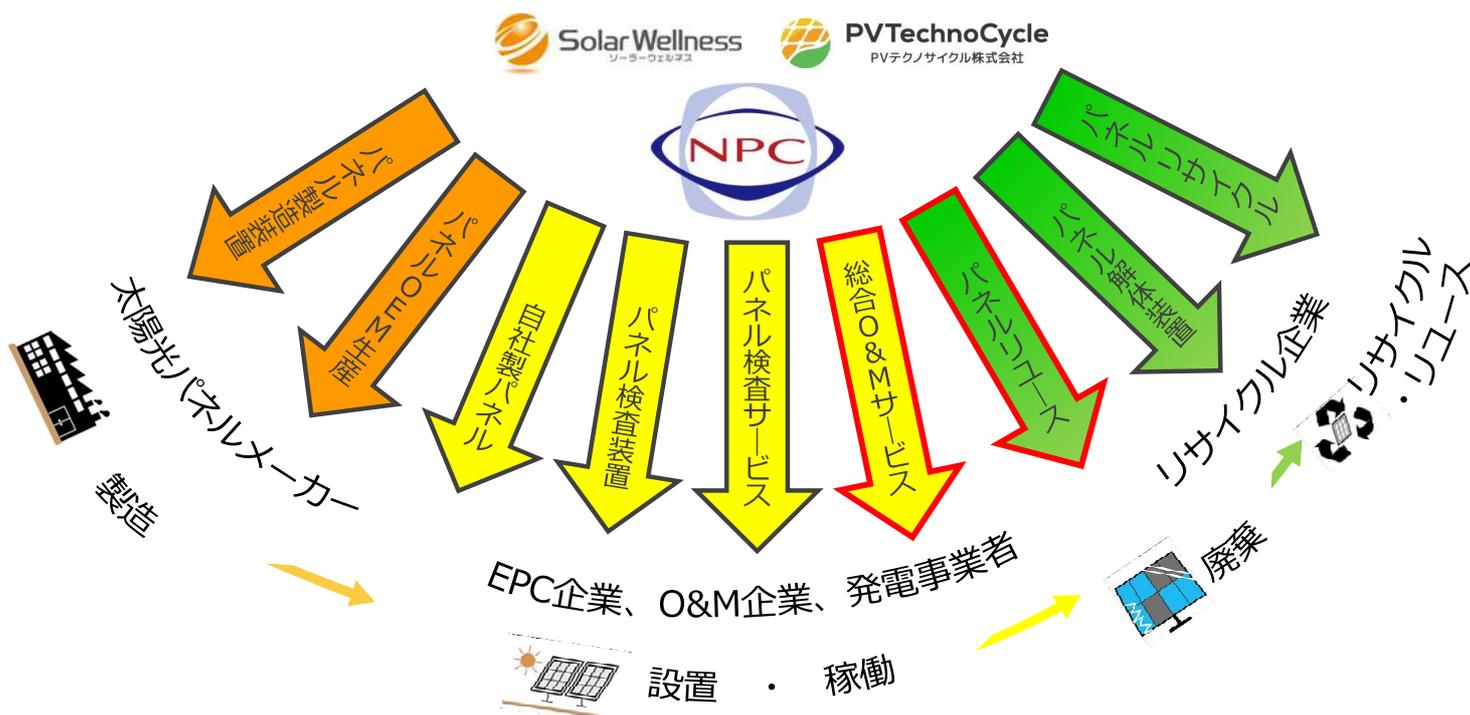
■ 売上総利益

前期比『増益』となる見込みである。引き続き高い利益率を維持する。

- 装置関連事業**
- ・ 安定的な生産体制を構築しており高い売上総利益率を維持
 - ・ 売上高の向上に伴い利益額も向上

- 環境関連事業**
- ・ 高付加価値の検査機器と検査サービスにより高い売上総利益率を維持

まとめ



アライアンスなどによる太陽光パネルのトータルコーディネートの拡充

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.

本日はありがとうございました

NPCグループは、
「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針にのっとり、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、
地球環境、地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

企画情報部

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Copyright © 2016 NPC Incorporated. All rights reserved.